

○探査等領域説明会 質問回答

No	技術開発テーマ	質問	回答
1	月面インフラ構築に資する要素技術	1. ペイロードの質量はどの程度を想定しているか？ 2. ペイロード製造にあたり、部品の知見や試験等に関してJAXAに協力依頼をすることは可能か？ 3. 複数の団体で共同して1件の応募は可能か？ 4. 「3」で、同一の団体が異なる複数の提案を応募可能か？ 5. 「3」で複数の実施内容が含まれる提案を1件にまとめて応募可能か？	1. 実証機器の質量は、現状の月面までの輸送コストを考慮すると、小さい方が望ましいが、提案内容の意義の重要性を考慮する観点から、質量の上限は設定しない。詳細は、「月面インフラ構築に資する要素技術」公募要領「2. （3）技術開発実施内容」を確認いただきたい。 2. 基本方針の「6－1. 運営体制」の範囲で協力を予定している。部品・試験に対する知見を提供するのはJAXAの役割という認識だが、JAXAの設備を利用する場合は有償利用としている。また、いわゆるハンズオン支援は想定していない。 3. 「月面インフラ構築に資する要素技術」のテーマでは、基本方針で定められている技術開発実施体制に加えて、体制として条件を満たす企業及び大学等による共同提案を対象としている。なお、提案にあたってはひとつの代表機関を定め、他機関を連携機関として申請する必要がある。詳細は、「月面インフラ構築に資する要素技術」公募要領「2. （4）技術開発実施体制」を確認いただきたい。 4. 重複する内容が含まれない場合は可能。複数の提案すべてが採択される場合もあるためリソースに留意して提案いただきたい。 5. 可能。「月面インフラ構築に資する要素技術」のテーマにおいては、開発要素が複数にわたることも想定される。
2	月面インフラ構築に資する要素技術	1. 応募に際し、支援期間内での月面実証は必須、という理解で正しいか？ 2. 一件当たりの支援総額(約30億円上限)については、月面実証を行う際の月面への打上げ費用/輸送費用も含まれるか？ 3. 応募に際し、以下のような場合は受理されるか？ ①弊社が代表企業として全く異なる内容の提案を二つ以上応募する場合 ②弊社が代表企業として行う提案と、(他社を代表企業として)弊社が連携機関として行う提案をそれぞれ応募する場合 4. 支援の類型について、中小企業の定義は、科学技術・イノベーション活性化法第2条第14項に規定される中小企業者を指すか？	1. 実証を前提とした要素技術の開発が目標となるため、提案には開発した技術の月面での実証までを含むものとしている。（打上げ費用は支援対象外）詳細は、「月面インフラ構築に資する要素技術」公募要領「2. （3）技術開発実施内容」などを確認いただきたい。 2. 打上げ費用は含まれていない。詳細は、「月面インフラ構築に資する要素技術」公募要領「2. （5）支援の方法」を確認いただきたい。 3. ①②どちらも制限はないが、研究代表者及び研究分担者が目標達成に向け、リーダーシップ及びマネジメントを発揮できるような提案をお願いしたい。 4. 認識のとおり。
3	月面インフラ構築に資する要素技術	1. 実施方針「5. 自己負担の考え方（補助率の設定）等」において、「支援の類型をC及びBとして実施する。」とあるが、どの段階で決定されるのか？また、途中で変わることもあるのか？ 2. （ステージゲート評価後に）Bの段階に入った場合、連携機関に大企業がいたとしても代表機関が大学であれば補助率は1分の1となるのか？	1. 当初はCから始まり2度目のステージゲート評価後にBとなる。 2. ご認識のとおり。
4	月面インフラ構築に資する要素技術 月極域における高精度着陸技術	1. 「月面インフラ構築に資する要素技術」のテーマについて、月面実証のための輸送費（ロケット打上費）は計上不可と理解したが、それは同時期に公募を予定している「月極域における高精度着陸技術」のテーマに相乗りすることを想定しているためか？ 2. 提案にあたっては、国内に研究開発拠点等を有し、日本の法律に基づく法人格を有している組織が対象であることは理解している。本テーマで開発した装置を将来的に国内だけでなく、海外も含めた展開を視野に入れる場合、海外との協力もある程度必要になってくると思うが、例えば海外の研究者なり開発者なりを今回の提案段階で入れるような枠組みはあるのか？	1. 「月面インフラ構築に資する要素技術」のテーマの支援範囲には月面実証のための輸送費（ロケット打上費）は含まれない。ただ、「月極域における高精度着陸技術」のテーマは、宇宙実証まで支援範囲に含まれるため時期が合えばそこに載せることは可能である。詳細は、「月面インフラ構築に資する要素技術」公募要領「2. （5）支援の方法」及び本質問回答の6番を確認いただきたい。 2. 基金の授受がない「協力機関」という位置付けであれば枠組みに入ることは可能である。
5	月面インフラ構築に資する要素技術	1. 支援総額にはペイロードの製造まで入っているという理解で良いか？ 2. また実施方針「2. 本テーマの目標」において「TRL 6相当」とあるが、ペイロードの製造がTRL 6ということか？それともここはTRL 7を求めるのか？ 3. TRL 6であれば、そこから打上のタイミングまでどれくらいの期間を想定されているか？	1. その通り。 2. 研究開発スケジュールにある2030年の終わり頃に、TRL 6レベルのものを作ることになる。 3. いつ月面実証するか等はそれぞれのご提案次第。
6	月面インフラ構築に資する要素技術 月極域における高精度着陸技術	「月面インフラ構築に資する要素技術」のテーマと「月極域における高精度着陸技術」のテーマがリンクしているように感じる。提案時にはそれぞれのテーマを意識して書く必要があるか？また採択後にそれぞれのテーマの実施機関はステージゲート評価後に連携すること等を想定しているか？	「月面インフラ構築に資する要素技術」のテーマにおける月面実証の機会について、「月極域における高精度着陸技術」テーマにて技術開発する月着陸機システムの月面着陸実証の機会を事業者が求める場合は、ステージゲートにおいて月面実証の意義や準備状況等の評価を行い、許容質量の範囲内で搭載可否を検討するもの。これは宇宙戦略基金における技術開発テーマ間の連携推進の観点から、月面実証の機会について連携するものであり、あくまでそれぞれのテーマは単独のものである。なお「月極域における高精度着陸技術」テーマの月面着陸実証の機会を念頭に置いた提案であれば、テーマ採択後に当該月着陸機システムとのインタフェースは確認しておいていただきたい。
7	月面インフラ構築に資する要素技術 月極域における高精度着陸技術	1. パワボ資料「研究開発スケジュール（イメージ）」において、それぞれ終了時期に微妙な違いがあるか意図したものか？ 2. 最終段階で、「月面インフラ構築に資する要素技術」のペイロードを「月極域における高精度着陸技術」で打ち上げるような判断もあるのか？	1. 研究開発スケジュールはあくまでもイメージ。各提案の研究開発の度合いで変わってくるという認識。 2. 基本は、「月極域における高精度着陸技術」のテーマの実施方針では、「JAXAは支援開始後2年目を目途に有識者会議を開催し、技術開発の進捗状況や宇宙戦略基金事業における成果を最大化する観点から評価を行い、実施主体に対して搭載を求める技術実証ペイロード案を決定する。」としている。
8	—	1. 株主が外国企業の場合、応募は可能か？ 2. 海外のパートナーと協力できるか？	1. 基本方針「5－1. 支援対象」の要件に合致していれば可能である。 2. 基金の授受がない「協力機関」という位置付けであれば可能である。
9	月面インフラ構築に資する要素技術	1. 公募内容を検討中とのことだが、検討内容に質量のオーダーなどは含まれるか？ 2. 現在スターダストプログラムを受託しているが、それと並行して本テーマを進めることは可能か？	1. 実証機器の質量は、現状の月面までの輸送コストを考慮すると、小さい方が望ましいが、提案内容の意義の重要性を考慮する観点から、質量の上限は設定しない。詳細は、「月面インフラ構築に資する要素技術」公募要領「2. （3）技術開発実施内容」を確認いただきたい。 2. 宇宙戦略基金は競争的資金であり、制度上、同じ内容で資金を獲得することは出来ない。提案する場合は応募時にスターダストプログラムの実施内容との切り分けを説明することは必要。

10	月面インフラ構築に資する要素技術	実施方針「1. 背景・目的」に将来27兆円規模の市場になることを見据えると謳われているが、これはかなり大規模な発展状況だと思うが、その進展を見据えた提案で問題ないか？	当該市場規模に達する2040年代をどう考えるか次第。月面開発が進展していく中で、ある程度大きな規模のものが出来てくると想定する。例えばJAXA国際宇宙探査センター宇宙探査システム技術ユニットが公表している「日本の国際宇宙探査シナリオ（案）」の改定を踏まえながら、規模感を見ていくことになるとは思う。
11	月面インフラ構築に資する要素技術	「月面インフラ構築に資する要素技術」のテーマでは複数件採択されることを前提としていると思うが、提案機関同士のシナジー等そういったものは採択する上での検討材料になるか？	採択された後に連携していくことは重要だが、（シナジー等は）各提案から何が採択されるか次第である。
12	月極域における高精度着陸技術 月面インフラ構築に資する要素技術	いくつかのインフラ構築に関するペイロードは着陸機に載せて終わりではなく、そこから自走して離れた域で作業するというような検討もあるかと思うが、現状、着陸後に、例えば100m着陸地点から移動するっていうところのコストに関しては、例えばローパーという移動手段を本テーマの中で支援可能か？	「月極域における高精度着陸技術」のテーマは、ペイロードであるローパーの開発を要求しているわけではない。「月面インフラ構築に資する要素技術」のテーマで採択され、開発されたペイロードで移動手段が必要な場合は提案の中で意義・価値等を説明いただきたい。
13	－	同じ提案内容でも共同提案と単独提案では、評価が異なるか？	各テーマの審査委員会で判断される。
14	月面インフラ構築に資する要素技術	大学が代表機関の場合、ステージゲート評価の後でも補助率は1分の1ということか？	その通り。詳細は、「月面インフラ構築に資する要素技術」公募要領「2.（5）支援の方法」を確認いただきたい。
15	－	大学と複数の企業でグループを構成し、大学を代表機関として補助のテーマに提案予定。採択された場合の予算は各分担企業にどのように基金から配分されるか。大学に配分され大学から各企業に配分するのか、あるいはJAXAから各企業にそれぞれ直接配分されるか。	JAXAから代表機関の大学に配分され、大学から各企業に配分する。
16	月面インフラ構築に資する要素技術	2029年までにペイロードの製造に必要な情報を得る為の小規模の月面実証（打ち上げ輸送費用含む）費用に含むことはできますか？	提案次第。実現性等踏まえて提案いただきたい。
17	月面インフラ構築に資する要素技術	実施方針「1. 背景・目的」に「月面への輸送コスト等とのバランスも勘案し、小型で早期に成果が創出でき、今後の月面活動の基盤として活かせる技術開発を対象」とある。ハードウェアを伴わない提案は評価されるか？	最終的には月面実証を将来的に行うところを見据えているので、そこを踏まえ、どう提案するかということ次第かと思う。公募要領に沿った提案をお願いしたい。
18	月極域における高精度着陸技術	テーマによっては、非常に高度な技術になると思うが、「月極域における高精度着陸技術」のテーマにおける「成功期待値（品質）」について、どのように考えているか？	「月極域における高精度着陸技術」のテーマでは、実施方針「2. 本テーマの目標（出口目標、成果目標）」に記載している通り、「月極域へSLIMと同等以上（100m以下の精度）の高精度の着陸を可能とする技術と当該技術を搭載した月着陸機システムを開発する。」ことを担保できるシステムを作っていただくことになる。
19	－	海外の研究機関を協力機関に含めることができるということだが、海外の研究機関から参加表明のような書類をもらう必要があるか。	不要。提案書の中で協力機関として記載いただきたい。
20	月面インフラ構築に資する要素技術 月極域における高精度着陸技術	1. 支援期間終了後は、自己資本から捻出して月面実証を実施するという理解で正しいか。 2. 高精度着陸における実証機会は、両案件ともに政府支援であるため無償提供される、という可能性はあるのでしょうか。または、採択事業者が設定する金額にて有償利用させていただく、というご想定でしょうか。	1. その通り。支援期間終了後での月面実証は、実施主体の自己資本等で実施いただくことになる。 2. 「月面インフラ構築に資する要素技術」のテーマの支援期間中、同じく第2期公募の「月極域における高精度着陸技術」のテーマでの実証機会の活用があるところ、月周回又は月面において技術実証することが妥当であると評価されたペイロード（技術実証ペイロード）となった場合には、一緒に搭載することができる。
21	月面インフラ構築に資する要素技術	本テーマは、月面環境分析のための技術を指しているのか。それともより広い用途を想定されているのか。	月面環境分析も含む月面実証であり、月面環境分析のみではない。インフラ構築を目的としたテーマであるため幅広い提案を期待している。
22	高頻度物資回収システム技術	1. 実施方針「2. 本テーマの目標」に「2028年度までを目途に完了」とあるが、具体的な完了時期（例：2028年8月末等）に関する想定があればご教示いただきたい。 2. 実施方針「5. 支援の方法」に支援総額「25億円程度」とあるが、ステージゲート評価の前後での資金配分に関して、何らかの統制（例：ステージゲート前に10億円以内等）はあるか。 3. 実施方針「7. 技術開発マネジメント」に「支援開始後2年目を目途にステージゲート評価を実施」とありますが、ステージゲート評価の具体的な時期について、個別調整の余地があるかご教示いただけますでしょうか。また、調整が可能な場合、どの程度の幅（例：2028年3月前後3か月等）を想定すればよろしいでしょうか。 4. ステージゲート評価までにJAXAに提出が求められる報告資料や様式があれば、ご教示いただきたい。	1. 実施方針に記載以上の具体的な完了時期は想定していない。ご提案内容に応じる。 2. 統制は想定していない。ご提案内容に応じる。 3. 個別調整は想定していない。 4. 採択後に通知予定である。